

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

ガラスの持つ無限の可能性を引き出し、モノづくりを通して、豊かな未来を切り拓く

売上高
4,000億円営業利益
500億円営業利益率
12.5%ROE
8%

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の強化

高付加価値製品の開発・事業化、全電気溶融技術の活用による生産性向上、業務・製造プロセス改革等で収益基盤強化

3. 調達リスク対応

調達先・物流ルートの複数化、取引先との戦略的提携で経済情勢・物流混乱に対応

2. 戦略事業の拡大

成長分野へのリソース投入、ガラス付加価値を高めるデバイス事業拡大、戦略的投資枠5年500億円でM&Aと連携推進

4. カーボンニュートラル推進

全プロセスの電化、再生可能エネルギー投資、水素等CO2フリーエネルギー技術開発

③ 対処すべき課題

① ガラス製造のエネルギー削減

- ・溶融炉の温室効果ガス排出削減が重要課題
- ・全電気溶融技術導入で生産性・品質向上（導入比率7割弱）

② 資源有効活用と廃棄物最小化

- ・天然資源使用を最小化し廃棄物発生を最小化
- ・生産効率を最大化することが最重要課題

③ サプライチェーン全体の責任

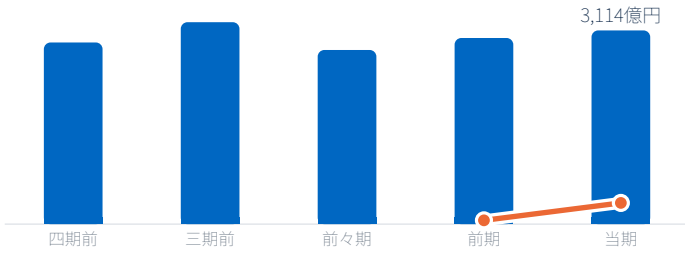
- ・環境・生物多様性・人権等で社会的責任を推進
- ・地域社会との良好な関係構築が事業継続に不可欠

面接で使えるポイント

- ・中期経営計画EGP2028で2028年度に売上高4,000億円、営業利益500億円達成を目指す
- ・全電気溶融技術やフッ素フリーコーティング技術など革新的技術開発で市場開拓推進中
- ・☒ 琵琶湖周辺に複数製造拠点をもち、カーボンニュートラルと生物多様性保全に注力

証券コード 5214

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,114億円営業利益率
11.0%財務健康度
61点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.3（当サイト算出の参考指標）

要するに
日本電気硝子株式会社の事業要約

...

主力事業・セグメント

- ・ガラス・土石製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,114億円の事業規模
- ・営業利益率11.0%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
738万円

ガラス・土石製品内 16位/47社

平均年齢
43.3歳

ガラス・土石製品内 24位/47社

平均勤続
20.0年

ガラス・土石製品内 7位/47社

女性管理職
2.3%

ガラス・土石製品内 32位/39社

男性育休
107.5%

ガラス・土石製品内 2位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【日本電気硝子】赤字でも減配しない神髄。5214が示す「DO

